



# 近藤じゅん子 通信 Vol.11

## 区議会公明党の推進により「看護小規模多機能型居宅介護」が前進!!

公明党の推進で区立全小中学校体育館に冷房を設置！  
避難所のスマホ充電機配備を提案！

第2回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和元年6月6日(趣意)

### 福祉・健康

#### 看護小規模多機能型居宅介護について

**質問** 「看護小規模多機能型居宅介護」がスタートしました。

「通い」「泊まり」「訪問看護・リハビリ」「訪問介護」「ケアプラン」のサービスを一体化して、一人ひとりに合わせた柔軟な支援ができるトータルケアをしてくれます。

この、看護師・介護職員がいる地域密着型の介護事業所は、介護する家族にとつては非常に頼りになる機能となります。今後の整備・誘致についてお聞かせください。

**答弁**(区長)「看護小規模多機能型居宅介護」は、地域包括ケアシステムの構築に不可欠な地域密着型サービスの拠点として位置づけています。

そのため、民間事業者の誘致を進めており、令和2年度に1施設開設に向けた協議を行っています。

また、令和3年3月開設予定の「恵比寿二丁目複合施設(仮称)」の整備も併せて、生活圏域ごとのバランスを考慮しながら、拡充を図って行きたいと考えています。

### 教育

#### 熱中症対策について

**質問** 小中学校の体育館へのエアコン設置が夏前までに完了することになりました。

施設開放などで体育館を使用する団体等に熱中症対策のため、有料でも良いのでエアコンの利用のルールを作って欲しいのです。

**答弁**(教育長)学校施設における空調機器の使用について、受益者負担を視野に入れて、より快適な施設利用が出来るように空調機器使用のルールの策定を検討してまいります。

#### 情報モラル教育について

**質問** インターネットの何が便利で何が脅威となるのか、

そしてネットのルールを理解し正しい情報を利用して、よりよい情報発信をすることが出来る能力を身に付ける事は必要不可欠です。ネットリテラシーを育む、「情報モラル教育」の現状を伺います。

### 防災対策

#### スマホ用充電蓄電池配備について

**質問** 昨年の北海道胆振東部地震の際、大規模停電、いわゆるブラックアウトが発生いたしました。

また、中国・四国地方の集中豪雨でも大規模な停電が起りました。

先日、大容量の蓄電池を見たのですが、キヤスター付で簡単に可搬でき、300台ほどのスマートフォンをフル充電できる容量です。

使用しながら付属の太陽光パネルや発電機からの充電も可能で、被災生活には重要な役割を果たすと思いました。

災害時の安否確認や情報収集にスマートフォン等のデバイスは欠かせません。避難所へのスマートフォン等の充電用蓄電池の配備について、区長の所見を伺います。

**答弁**(区長)避難所の発電機の更新に合わせて、性能や価格の比較を行いながら、議員ご提案にありますように、携帯電話の充電が可能な大容量蓄電池の配備について、検討してまいります。

## 昨年提案した「フレイル」予防が始動へ。

この夏、高齢者の健康・福祉に関するテーマで、勉強会や視察を、会派で精力的に実施しています。

先日は、「フレイル予防対策」について先進的に実施をされている豊島区の「東池袋フレイル対策センター」へ。私は、昨年の第4回定例会にて、人生100年時代を健康・長寿の幸齢社会へとしていくために、「栄養」「運動」「社会参加」を推進した「フレイル予防」対策導入を提案させていただきました。

その提案を受け、渋谷区としては、今年度、普及啓発のためのイベントを実施する予定です。

更に、事業を進めていける様に具体的な提案をして参ります。



「フレイル対策センター」で身体能力を計測。一応、91点でしたが…運動不足は否めず。元気な100歳を目指して運動も頑張ります。



平成30年第4回定例会一般質問より

# 本年の実績を ご紹介します。



## 「渋谷区子育てネウボラ」がプレスタート

渋谷区議会公明党が2年間、機会あるごとに提案をしてきた「渋谷区子育てネウボラ」が、5月20日美竹第二庁舎で、遂にプレスタートしました。

「ネウボラ」とは、フィンランド発祥の、妊娠期から出産、就学前までの間、母子とその家族を支援する制度です。

様々な不安を、担当保健師があなたに寄り添いながら、妊娠、出産、子育ての悩みや疑問をお聞きし、喜びの多い子育てができるよう一緒に考えていきます。



## 「認知症なっても展」を開催



6/14～6/28、渋谷区役所15Fのスペース428(シブヤ)にて、「認知症なっても展」が開催されました。

会期中、日替りで行われるステージイベントは全国で引っ張りだこの講師の先生方。毎回、満席となり、ワークショップ等も熱いトークが展開されていました。

6/19の講師は、「認知症とともに笑顔で生きる」おれんじドア代表・丹野智文さん。

39歳で若年性アルツハイマー病になったトップ

営業マンで、認知症と診断されたご本人の不安を一緒に乗り越えられたらと、宮城県仙台市で認知症ご本人のための総合相談窓口を開設しています。

私は、2年前の福祉保健委員会の中で、区の認知症フォーラムの内容の充実を要望し、丹野さんを講師に迎えたらどうかと、提案をさせて頂きました。



↑  
「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」。自分の思いをメモにしたため木の枝に貼ります。私は「お互い様を広げたい!」と書きました。

## 「こころの体温計」がスタート

『こころの体温計』とは、携帯電話やパソコンを利用して、気軽にメンタルヘルスチェックができるシステムのこと。私は、2015年第3回定例会の代表質問で、「こころの体温計」の導入を提案しておりました。

産後うつ等も視野に入れた計画であり、「渋谷区子育てネウボラ」事業と連携をしています。

簡単な質問に答えを入力すると、あなたや、ご家族のお悩みがチェックできます。

こころが疲れた方への温かい支援に繋がることを願っています。

スマホはこちらから



**本人モード** ストレス度・落ち込み度のチェックができます

ご本人の健康状態や人間関係、住環境などの4択式の質問に回答していただくと、ストレス度や落ち込み度が、水槽の中で泳ぐ金魚、猫などの絵になって表示されます。

【赤金魚】自分の病気などのストレス  
※レベルが上がる毎に色が赤くなります

【水の透明度】落ち込み度  
※レベルが上がる毎に水が濁っていきます

本人モード 結果画面(例)

**赤ちゃんママモード**

産後はイライラしたり、憂鬱になったり、情緒不安定になりがちです。赤ちゃんお母さんの心の健康状態をチェックできます。

**家族モード**

大切な方の心の健康状態をご家族や、身近にいる方の目でチェックします。家族の方、周りの方の心の健康状態が気になる方におすすめします。

渋谷区 こころの体温計

ひとり一人を大切に、皆様の声を区政に活かします。

—— 区政に対するご要望、お困りごと、お気軽にご相談ください ——

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

- 福祉保健委員会 委員長
- 自治権確立特別委員会

渋谷区議会公明党控室  
TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962  
携帯 090-2221-7507  
近藤じゅん子のブログ  
http://ameblo.jp/kondo-junkon



ホームページ



アメブロ



Twitter



Facebook